



AR 授業で防災意識を向上

官学連携で密集市街地の小学生に防災教育

豊中市では大阪府、大阪公立大学と連携し、密集市街地内の小学生に向けた「防災AR授業」を行います。

庄内・豊南町地区は、木造住宅などが密集する地域であり、災害時には火災や建物倒壊による被害が拡大しやすく、防災性に課題があります。この課題に対応するため、小学生の防災意識の向上を目的として、大阪公立大学が開発した防災教育向けのARアプリ「MUSUBOU-AR」を活用した授業を行います。



AR（拡張現実）を用いて火災や水害、建物倒壊などの様子をその場で可視化することで、災害への具体的な対策を考える機会とします。

今年度は昨年度と同様に、庄内さくら学園の4年生に加え、新たに高川小学校の4年生を対象に授業を行います。

官学連携の「防災AR授業」の概要

① 庄内さくら学園

日 程：11月6日（水）8時45分から12時15分まで

② 高川小学校

日 程：11月14日（木）8時45分から10時25分まで

過去の実施事項については、市のHPをご覧ください。

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/shigaichiseibi/shigaichiseibi_topi/syounaijyugyou.html

取材を希望する場合は、

11月5日（火）15時までに下記の問い合わせ先まで電子メールで申し込みください。

【報道機関からの問い合わせ先】

都市計画推進部 都市整備課

担 当：大須賀・中尾・伊藤 TEL：06-6858-2342

E-mail：nambuseibi@city.toyonaka.osaka.jp